２０２３年度　強震動予測研究とその応用に関するワークショップ　および

地震リスク評価高度化（阪神コンサルタンツ）研究分野　成果報告会(2018~2023)

プログラム

開催地　黄檗プラザ　きはだホール(３月２１日)

　　　　　　　　　　セミナールーム４＆５（３月２２日）

３月２１日

Zoom: https://kyoto-u-edu.zoom.us/j/82992713831?pwd=kMNYOxM14nN0QUdjqHaInAHbZ43qeB.1

セッション１　進行役：川瀬博（敬称略、以下同じ）

０９：００～０９：１５　開会の辞と主旨説明　寄附研究部門　川瀬博

０９：１５～１０：００　内陸地震の震源断層モデルからわかったことと課題　京大防災研　岩田知孝

１０：００～１０：４５　強震記録に基づく2023年トルコ地震(Mw7.8)の特性化震源モデル　清水建設　佐藤智美

１０：４５～１１：３０　2023年トルコ・シリア地震など近年の被害地震から学ぶ長周期地震動と課題　　　　　　　　　　　　工学院大学　久田嘉章

１１：３０～１２：１５　内陸地殻内地震を対象にした地震発生層以浅の浅部すべりのモデル化に関する検討　大崎総合研究所　宮腰研

（昼休み）

セッション２　進行役：長嶋史明

１３：１５～１３：４５　SRCMODに集められたインバージョン結果に基づく内陸地震・海溝型地震

のスケーリング則　京大防災研　長嶋史明（当初の寄附研究部門メンバー）

１３：４５～１４：１５　全波の振幅特性と経時特性とを考慮した統計的グリーン関数法による大地震シミュレーション　安藤・ハザマ技術研究所　仲野健一（寄附研究部門共同研究員）

１４：１５～１４：４５　1944年東南海地震での観測被害率を用いた不均質震源モデルの構築 寄附研究部門　伊藤恵理

（１５分休憩）

セッション３　進行役：仲野健一

１５：００～１５：３０　Empirical modification approach to extract nonlinearity from observed earthquake horizontal-to-vertical spectral ratios with high peak ground accelerations（水平上下比の変動から非線形特性を抽出する方法とそのモデル化）寄附研究部門　Ziqian WANG（王自謙）

１５：３０～１６：００　Dynamic rupture simulation for the 2016 Kumamoto earthquake（熊本地震の動的破壊シミュレーションによる観測波形の再現）寄附研究部門　Jikai SUN（孫紀凱）

１６：００～１６：３０　動的破壊シミュレーションが示唆する真の短周期生成メカニズム仮説　寄附研究部門　川瀬博

１６：３０～１７：３０　総合討論（司会：川瀬博）

１８：００～２０：００　懇談会＠レストランきはだ

３月２２日

Zoom: https://kyoto-u-edu.zoom.us/j/87829906118?pwd=btC2jhzjzIcQBUWlyLXhFC7aEzBdby.1

セッション４　進行役：伊藤恵理

０９：００～０９：３０　硬質地盤に対する拡散波動場理論の適用性検証　京大防災研　長嶋史明（当初の寄附研究部門メンバー）

０９：３０～１０：００　地震動の水平上下比から水平動サイト特性を求める経験的上下動増幅率を用いた補正法の提案　寄附研究部門　伊藤恵理

１０：００～１０：３０　拡散波動場理論に基づく強震動の地震基盤波の計算法と非線形特性の抽出法京大防災研　長嶋史明（当初の寄附研究部門メンバー）

１０：３０～１１：００　Simulations of both observed strong motions and subsequent structural damages in downtown Mashiki during the 2016 Kumamoto earthquake （熊本地震の益城町の非線形強震動シミュレーションと木造被害シミュレーション）寄附研究部門　Jikai SUN（孫紀凱）

１１：００～１１：３０　Direct S-wave velocity inversion from the site amplification factors separated by GIT （GITで求めたサイト増幅特性からの速度構造インバージョン）寄附研究部門　Ziqian WANG（王自謙）

１１：３０～１２：１５　台南市のDawang低地での観測微動水平上下スペクトル比の方位依存性　京大防災研　松島信一

（昼休み）

セッション５　進行役： 孫紀凱

１３：１５～１３：４５　GITによる全波とS波部のサイト特性比とそれを用いた統計的グリーン関数安藤・ハザマ技術研究所　仲野健一（寄附研究部門共同研究員）

１３：４５～１４：００　GITによる全波とS波部の水平上下比と水平動・上下動のサイト特性　寄附研究部門　川瀬博

１４：００～１４：３０　拡散波動場理論に基づく水平上下比を用いた速度構造インバージョン手法の国際展開　寄附研究部門　川瀬博

１４：３０～１４：４５　動的破壊シミュレーションで得られる滑り速度関数と高速滑り域の特徴　寄附研究部門　川瀬博

（１５分休憩）

セッション６　進行役：王自謙

１５：００～１５：３０　Microtremor observation and strong motion reproduction in Antakya in Turkey during the 2023 Southeastern Turkey earthquake sequence（トルコ南東部地震によるアンタキヤ市内での微動観測と強震動評価）寄附研究部門　Jikai SUN（孫紀凱）

１５：３０～１６：００　能登半島地震における強震動特性・サイト特性・建物被害　寄附研究部門　川瀬博

１６：００～１６：４５　Revisited kinematic source inversions with SMGAs for inland earthquakes in the past in Japan: Kumamoto and Kobe cases by Anatoly Petukhin (GRI財団、寄附研究部門共同研究者)

１６：４５～１７：２５　総合討論：今後の検討課題（司会：川瀬博）

１７：２５～１７：３０　閉会の辞（川瀬博）

※招待講演者は３０分の講演＋１５分の質疑応答、寄附研究部門（過去の所属者・共同研究員を含む）の講演者は２０分の講演＋１０分の質疑応答（一部を除く）とします。なお英語タイトルのある発表は英語で行われます。